

17/6/28 名古屋市経済水道委員会 途中から

44000 円余

ボストン美術館の二の舞

入場者は半分、入場料収入は 3 分の 1

木造で魅力は高まる

年度ごとに上がったり下がったり

平均すると 360 万人 継続できうる数字

平成 28 年度速報値 約 192 万人

本丸御殿以前は 140 万-150 万人

お城ブーム

天守閣 360 万人数字 なぜか？

調査結果、民間なりの数字が出たらどうするのか

2000 万円余調査予算

民間視点の提案

360 万人を確保するような提案がいただけると思っている

西川：民間 発案があるのか

200 万人くらいになった

その差 160 万人 確保できるものかどうか

もともと頼ればよかったのではないか

経費もかかる 505 億円に入っているのか

館主幹：大阪城 2 年前 180 万人 管理運営民間会社

230 万人 昨年度 260 万人弱

様々な管理運営

気づかなかった点を改善

民間提案 505 億円の中でやっていくのか

具体的提案を受けているわけでは内

木造復元のための整備費 基本的には別の金額

西川：相当な経費

大阪城 歴史的お城 人気
そこまでいけるものか
経費はいくらくらいかかるのか

館主幹：具体的提案がでてから

西川：360万人目指す 下回ったらそのとき考える

その分の埋め合わせはどうするのか
税金投入するしかないのではないか

館主幹：分析して内容を実現し、確保できるのでは無いか

スキームは維持していきたい

西川：遙かに下回った場合想定しないといけない

覚悟を持たないといけない
調査結果が出てからではなく

館主幹：230万人くらいだったとき

50年で市債を全額返済する
最低でも330万人ほどいないといけない
200万人来れば、返済期間はできないが、若干黒字になる
時間はかかるが返済できる
税金を投入することはならないようがんばっていきたい

西川：返済期間を延ばす

想定が低ければ50年→100年
利子は付くのか

館主幹：市債で借りる 一時的には一般会計から借りる

特別会計 入場料の金額に応じて返す
330万人来れば50年間
下回れば長くなる 名古屋市間でのお金 利息はかからない
寄付・補助金 努力する

西川：足りない部分 一般会計から特別会計 税金

その先 未来の名古屋市に負債を延ばしていく それでよいのか

館主幹：ご指摘のとおり単年度で見れば税金を投入することに

長期的視点 入場料収入でまかなう

全部返しきる

西川：一時的でも税金投入する

第三者の調査が必要

民間活力 調査の中で項目に入っているのか

館主幹：入っている

西川：年度内で頑張る 遅くないか

石垣の調査 乱暴

調査は時間がかかる 早めていかないと行けないのではないか

2022年12月 もう少し急がせる必要性は無いのか

石垣 あんなに短時間でできるわけがない

館主幹：調査期間にヒアリング

様々な観点が必要 来場者意向アンケート

5ヶ月程度は必要

速やかに手続に入る プロポーザルは8月末まで

調査は9月から 結果は年明け 年内は厳しい

西川：ボストンのような精度の低い調査はだめ

石垣も時間がかかるのでは無いか

調査結果はどのような計画か

館主幹：議会に報告

市民にも丁寧な説明 例えば機運醸成 ホームページで発信も検討

西川：歪曲したような発表ではなく、事実を

森：寄付金

本丸御殿資料要求

日本国内だけでなく外国の札 把握しているか

管理課長：天守閣の中に募金箱を設置 外国紙幣
額についてはデータは無い

森：ないということか

管理課長：ほとんどが日本円
日本円に換金している 資料がない

森：これだけ外国人観光客
姫路 27年度-28年度 外国人が2倍近くになっている
姉妹友好都市もある
国際化 外国人が寄付することもあるのでは無いか
ほとんどないでよいか

管理課長：納付書
外国人 外貨 募金箱に入れる
そういったケース データにして把握していきたい

森：これからは把握していく
姫路城の募金に関わる 何年でいくら
熊本も
外国人が外貨

館主幹：姫路城 資料
熊本城 復興支援基金 一口城主募金

森：外国の方の興味を金に換える
内容、寄付募集
外国の方に対してのアクション、アピール
姉妹友好都市 活用
広報物作成

館主幹：現在リーフレットで募集
英語版も検討中

その中でどういった呼びかけがよいか検討

森：その視点 姉妹友好都市 活用されていない

手つなぎがやれていない

寄付金を募る 子ども 大人になるまでに名古屋城出来ているといいな

年配 亡くなる前にできるといいな

いつできるかよくわからない

石垣 意見が出る

2022年 税金使わない 市長の思いがでている

不安要素

そもそも「世界遺産」 寄付をされる方 名古屋城燃えちゃった

名古屋城木造天守閣 数年後単品が世界遺産登録されるのか

それだけで世界遺産なるのか

館主幹：世界遺産 なるためには基準がある

ユネスコ等 顕著で普遍的な価値がある

姫路城 それに加えて人間の創造的価値 歴史的段階 見本

名古屋城 今後条件をクリアしないと

森 総合的に見て世界遺産

「木造化すれば世界遺産になる」 真実でない情報

だましているという感覚がある

石垣 新聞を見た方「名古屋城出来るの？」

名古屋市 出来る、税金を使わない

実際は税金を使う

いろんな不具合がある

無理を言わずに筋をたてて

木造復元に向けた調査 作った直後 430万→360万人 50年間続く

2000万円つけて入場者見込み

数が足りない場合、民間の力を借りて近づける

どこまで影響ある知恵がでるのか

10年後 携帯がどうなっているのか、VRはどうなっているのか

10年前は想像つかなかった

「解決策を得る」長い期間のことではない

館主幹：先になればなるほど計画の精度が低くなる

現時点で

将来的なこと実績が出る 見直しながら

適宜今回の目標 検討

民間の知恵が必要ならば予算要求する

森：505億 人件費、広報 いったん税金から出す

入場料から戻すから税金使わない

館主幹：ご指摘のとおり

森：実質的に税金使う

5年後入場者が減った→民間知恵 税金使う

505億から膨らむ

今の理解 そのときに金がいる

西川：寄付金納付書

10円でも納付書

館主幹：1000円以上は納付書

10円の人 いろんなところに募金箱に置くのでそちらに

名前を書きたい人は書いて欲しい

西川：子ども達10円 門戸を広げる

藤井：寄付を募る いつまでにどれだけに

収支計画 これから

これまでの収支計画 360万人入場者数 税金投入しない

破綻したと言うことか

館主幹：入場料で全てをまかなう

5/9に竹中と基本協定 事業着手した 補助金要望、寄付のご協力

スキームが破綻したわけでは無く、収支を安定させるため

藤井：例えば10億、50億、100億

手塚：どうやって寄付を募集するか

館主幹：募金箱 クレジットカード

手塚：募金箱 いろんなところ 小学生に
税務当局と打合せ

館主幹：財政局と相談

手塚：クラウドファンディング ある事業 応募
10-15%手数料をはかる 世界的に情報発信する

館主幹：メリット 金融機関を通さず資金調達
行政の場合、金融機関からのほうがメリットがある
ネットバンキング PR、周知はメリット
寄付の集め方を検討

手塚：納めやすい環境
本丸御殿障壁画 複製

整備室長 7ヶ月から8ヶ月程度
公開の時期 来年度公開
他の事例 デジタル 重要文化財 兵庫大乘寺 京都大徳寺、など

手塚：集客の目玉

森：本丸御殿障壁画復元

整備室長：復元模写 10年後
10年後も複製品は展示に耐える
しっかり保管しながら

藤井：障壁画 ホームページで紹介されている
進捗状況はどうなっているのか

整備室長：平成4年からはじめた 400年前に描かれた当時を複製

復元模写の職人少ない 主な絵から進めてきた
部屋の装飾 ふすま絵 620面 現在 395面 平成29年度完成見込み
天井板絵 705面 現在 271面 平成29年度完成見込み

藤井：手作業復元はいつ終わるのか

整備室長：平成40年

藤井：本丸御殿10年 全体工事
来年度公開予定 当初から全体工事完了時に公開予定していたか

整備室長：時間がかかる、職人が少ない
復元模写はここまで 工夫しながらやっている
全ての絵がやれていけばよいが、現在

藤井：デジタル復元 文化的にも技術的にも意味がある

江上：基金条例 木造復元のため
進捗状況を確認していく 石垣調査 昨年予算
いつまで終わるのか

渡辺主幹：基本設計等予算を認めていただいた
そのなかに入っている
今年度5月から石垣調査を進めている
地元学識経験者 調整をしている
基本設計 平成29年度2月
最初の石垣調査 29年度で終わる
詳細調査 今後実施していく必要がある
基本設計の中で
引き続き29年度から30年度

江上：現時点の予算は秋までか

渡辺主幹：秋か冬 調査内容に基づき、学識経験者の意見を求める
追加調査が必要ならやる

江上：石垣部会と調査は関係があるのか

渡辺主幹：調査する石垣は石垣部会に意見を聞いている

江上：現時点の木造

 天守閣部会 議論がでている

 現天守閣の評価はでているのか

渡辺主幹：今の評価をしていく

江上：石垣部会 資料要求がだされた

 現天守の評価もだしてほしい

渡辺主幹：天守閣部会に諮っていない

 意見はお出しする状況ではない

江上：現天守閣に価値がある

 民間活力の検討 大阪城の例 指定管理

 入場者が増えている

 大阪城 3.4 階 大阪市が直営 学芸員 リピーターを呼び込んでいる

館主幹：管理は電通や民間 5 つの会社

 企画展は学芸員と民間テーマとあわせた企画展

 3 ヶ月に 1 度かどうかデータを持ち合わせていないが、年に 3 回

江上：学芸員は市の職員

 市の直接の努力があるという理解

館主幹：学芸員 市の職員

 平成 27 年度 大坂の陣 民間の方がイベントをしていた

 それをテーマに企画展 役割分担

江上：民間活力の努力

 もう少し正確を期すべきでは無いか

 市の努力も

 寄付金の問題 市民の皆さんに説明をしないといけない

直接の説明会は予定しているのか

館主幹：周知は8月に広報名古屋で寄付の案内
寄付だけで無く事業の趣旨、目的、内容を説明したい
広報名古屋の特集号
あわせて市民の方から問合せがあれば出前トークで丁寧に説明

江上：立場は皆さんご承知
寄付金を集めようというわりに積極性を感じない
字だけで無く、SNSなど
市民に説明なぜしないのか 自らやっていく気は無いのか

館主幹：時期を見て区役所等で説明も考えたい

江上：なぜ私が言ったら答えるのか

館主幹：時期は決まっていないが年度内には区役所等で丁寧な説明をしたい

江上：寄付の問題だけではない。様々な問題がある。
対応をするのか

館主幹：私たちの説明を聞いてもらいたい
時間を取って市民の質問も受けたい

江上：市長が全く答えない
50年で返そうとしている。若い方などにも説明しないと

西川：大阪 民間活力と市の努力
大阪の努力を資料でまとめて欲しい

館主幹：27年度に指定管理者 具体的内容
資料として出したい

西川：お願いします

福田：入場者 閑散期はいつか

管理課長：1.2月

福田：どんな手を打ったか
客を募集することはなにか

管理課長：12月に華道展
年末年始 カウントダウンイベント
2月にスターウォーズ展

福田：短期では無く閑散期全体を見て
名古屋市の北区・西区・守山区 入場料半額
客を呼び寄せたか
10日は県外半額とか

管理課長：特定の日に安くなるはしていない

福田：市民経済 矢田のギャラリー
4月-8月 10%くらい 指定管理者を変えろ
例えば先生の卒業 個展をしてはどうか
今は60%
常に考えないといけない

管理課長：本年度 平成29年度 民間事業者アイディア・
ノウハウを活かして 企画から実施まで
今年の夏以降取り組みを進めようとしている

福田：今後ですので頑張って欲しい
石垣 天守閣は土台 石垣 分布荷重 均等に重量が係っていた
重加重
コンクリート名古屋城 ケーソン工法 集中加重
工程的に別物では無いか

渡辺主幹：昭和に作られたコンクリート名古屋城はケーソン
石垣部分と本体 加重は別

福田：木造で作られた均等加重とケーソンの加重
石垣にどの程度かかっているのか
資料が欲しい

渡辺主幹：ケーソンに加重がかかっている
石垣には荷重がかかっている
何%数字は出せない
構造的断面なら可能

福田：工程的なことがある 断面図でよいので出して欲しい

委員長：議案に関係あるか
正副で調整

中川：調査の約 2000 万円
昨年私も委員会 早急にやってもらうように
1.2 入場者と収支計画 経済波及効果の推計
第三者機関に調査依頼
今回中身 話題となっていなかった民間活力の導入の検討
入場者数増加策の検討
比重が大きくなったのでは無いか
先ほどの答弁 シンクタンクを想定
3.4 こういったことがシンクタンクで出来るのか

館主幹：調査会社で強み・弱み
様々なところから意見 懇談会・意見

中川：イメージ シンクタンクの下に JV
いろんなどころがついてプロポーザル

館主幹：金融機関がとった場合、旅行会社や広告代理店
懇談会に参画を想定

中川：民間活力の導入の検討
今現在名古屋城の管理運営費はどれくらいか

管理課長：平成 27 年度決算 6 億 3500 万円余

中川：名古屋城振興協会は年間どれくらいで何をやっているのか

管理課長：情報収集事業、
名古屋市から委託 改札、案内、清掃 1.1 億円程度

中川：情報収集は違うの？

管理課長：振興協会が団体としてやっていること。
名古屋市から委託ではない。

中川：情報収集とはなんなのか。1.1 億円とは違って聞こえる

管理課長：名古屋城の資料について収集。
お客様に対する案内。通常名古屋市が委託するものとは別。

中川：みんなわかった？

所長：名古屋城振興協会の全体業務としては情報や土産物、行事
それプラス委託した事業が警備、券を売るのが 1.1 億円

中川：何人でやっているのか 振興協会で働いている人の数

管理課長：捜し次第答弁

所長：事務所の方に理事長以下事務局長 だいたい 10 名程度専任
あとは警備員、清掃員 常勤でない人

中川：今の答弁 我が党の松井議員
市長「お客さんが来ないと潰れるところがやらないと」
今のやり取り聞いていて市長とある面同感
民間活力の導入の検討
1.1 億 10 名 民間に含むと言うことか

所長：民間活力の導入の検討 全体を検討

今は振興協会の委託もあるが、含めて検討

中川：運営管理費 6.3 億

振興協会 1.1 億

足して 7.4 億円が民営化か

所長：振興協会 1.1 億も 6.3 億に入っている

中川：振興協会の役目は民営化していくとともに果たし終えたということか

所長：振興協会の協会としての業務

売店、駐車場

警備など委託

収益施設 本市と大阪と違っている

中川：6.3 億円を民間に渡すのか、

指定管理お渡しするのか

どういうイメージか

局長：大阪先行事例 指定管理

どこまで指定管理踏み込むのか、アウトソーシング 答えが持っていない

市長 以前から民間に委託してはどうか

振興協会 今までの蓄積・ノウハウ

全体的に指定管理なのか、一部なのか

中川：6.3 億のうち、一部民間かもしれないし、

プラスアルファ民間に

局長：入場者増加策の提案

現在の管理運営費 費用をかけて入場者数増

6.3 億ありき それより安くなるかもしれない

福田：